

取材日：令和3年6月24日

熱中症対策 事例集

業種：建設業（とび工事業・土工・コンクリート工事業）

本社所在地：東京都狛江市

取材地：同上

従業員数：10～29名

概要：建設業（建築工事、土木工事、とび・土工工事、ほ装工事、鋼構造物工事、鉄筋工事、内装仕上工事、水道施設工事、塗装工事、防水工事）

特に配慮している事項

小規模な組織であることを活かして、一人ひとりの健康状態及び作業現場の特性に合わせた熱中症予防対策をきめ細かく実施しています。中でも、コンクリート打設作業現場や風通しの悪い場所での長時間作業は、熱中症リスクが高いと考えられるので中でも、注意をして対策しています。

基本的な取り組み事項

- 現場の一体感で対策強化。
 - 過去の災害事例は会社の財産という認識のもと、社長自ら再発防止に向け対策を講じている。
 - 会社ネーム入りのファン付き作業服を購入し、従業員はもとより下請作業員分に対しても無償で提供している。
（同じネーム入りの作業服を支給することで、作業現場での一体感が醸成された）
 - 小規模作業場であることを勘案して、職長に休憩時間の変更等の権限を与え、きめ細かな作業員の体調管理を行っている。
 - 有資格者一覧及び有所見者一覧表を利用し、作業員の適正配置を行っている。

1. 熱中症予防対策

(1) 作業環境管理

①WBGT 値の低減等

- 作業現場においては原則として元請が冷水機、製氷機、グリーンカーテン、ミスト扇風機、業務用扇風機を用意しており、それを活用している。自社が元請工事の場合は上記機器の設置についてレンタルで対応している。

(2) 作業管理

①作業時間の短縮等

- WBGT 値が高い場合は休憩時間を調整する。

例えば、午前 10 : 00 ~ 10 : 30 の休憩を 9 : 00 ~ 9 : 10、10 : 00 ~ 10 : 10、11 : 00 ~ 11 : 10 に分割している。

- 小規模作業場であることから、作業員個人個人に適した対策を講ずるため、職長に休憩時間の変更等の権限を与え、きめ細かく体調管理を行っている。

②水分及び塩分の摂取

- 塩飴を会社で用意して作業員に支給している。

③服装等

- 会社のロゴ入りのファン付き作業服を購入し、従業員はもとより下請作業員に対しても無償で提供している。

(同じロゴ入りの作業服を支給する事で、現場作業での一体感が醸成された。)



ファン付き作業服(会社のロゴ入り) ※社名はマスクングしております。

(3) 健康管理

①健康診断結果に基づく対応等

- 有資格者一覧及び有所見者一覧表を利用し、作業員の適正配置を行っている。

(4) 労働衛生教育

- 元請主導により、マンガ、チェックリスト、絵、ポスター等を用いて 30 分程度、労働衛生教育を定期的実施している。

(5) 救急処置

- 万一の時に備え、社員に救命技能認定[※]の資格を積極的に取得させている。
- 体調不良者がでた場合は、元請に速やかに報告して指示を仰ぎ、個人の判断で帰宅等しないように指示している。

[※] 「救命技能認定」とは、一定の講習（応急手当や AED の使い方等）を修了すると得られる資格のことである。

(6) 管理体制の整備

- 『過去の災害事例は会社の財産』という認識のもと、社長自ら再発防止に向け対策を講じている。



安全大会の様子